

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

| | | | |
|--|---------------------|-------------------------|---------------------|
| 1 都道府県・市区町村名 | 兵庫県・小野市 | 2 補助事業の種類 | 地域文化遺産活性化 |
| 3 実施計画の名称 | 小野市文化遺産活性化事業 | | |
| 4 実施計画期間 | 平成 23 年度 ～ 平成 33 年度 | | |
| 5 実施計画の概要 | | | |
| <p>2011年4月より実施されている『夢プラン2020おの総合計画』を踏まえ、地域の文化遺産を活用し、住民自身が中心となって地域の活性化を図る次のような事業を実施する。</p> <p>◇総合計画の内容</p> <p>【方針】 先人が築き、時代と共に生まれ、地域で大切に保存されてきた文化財を敬い、地域独自の多彩な歴史と文化を伝える唯一無二の至宝を守り育てる。市内各所に残された文化財の魅力や歴史的価値、重要性を後世に伝え保存するとともにその有効活用により、歴史が生きる個性的なまちづくりを展開し、オンリーワンの「おの歴史ワールド」を創造する。</p> <p>【目標Ⅱ】好古館運営の充実 ○市内に埋もれた文化人の遺品や偉業、町や地域の誇り、財産としての遺構などの文化財を掘り起し、正確で学術的な記録保存など、市民の参画と協働による文化財の提供、調査、保護、保存を推進する ○地域の特色のある歴史遺産や伝統文化の保存・体験機能の充実と、積極的な公開による地域密着型博物館へ変化する</p> <p>【目標Ⅲ】文化財への愛着づくり ○個々の文化財に係る内容、価値、歴史など、その特徴が理解できる案内標識や説明板等の充実による普及啓発の推進する ○市指定文化財への積極的な登録と有形・無形文化財の組み合わせによる新たな魅力の創造及び伝承者と保存会の育成推進する ○ウォーキングやハイキング、まち歩き、歴史ガイド等の運動・観光事業と、地域の自然や伝統行事の連携による文化財を生かした交流の場づくりの推進する</p> | | | |
| 6 実施体制 | | | |
| <p>小野市が本事業に係る全体の企画・調整や各事業に係る指導等を行う。 主な担当課、役割は下記のとおりである。</p> <p>・担当課 小野市教育委員会 いきいき社会創造課 好古館 ・役割 各補助事業にかかる文化財の取り扱い等に関する指導及び調整</p> <p>また、補助事業を次の団体が実施する 小野市地域遺産活性化協議会 実行委員会（実行委員長 坂田 大爾） 【構成団体】 小野市文化連盟、小野文化財保護協会、小野市文化財保護委員会 久保木町、河合中町、市内6地区地域づくり協議会 清々神楽の会、西脇町獅子舞保存会、黍田町年中行事保存会 播州小野太鼓、小野市教育委員会、小野市立好古館、神戸大学</p> | | | |
| 7 実施計画における目標と期待される効果 | | 別紙①のとおり | |
| 8 補助事業の概要 | (1) 補助金額 | ～平成28年度交付決定額： 18,077 千円 | 平成29年度申請額： 5,527 千円 |
| (2) 実施事業の概要 | | 別紙②のとおり | |
| 9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載） | | | |
| <p>市民の文化遺産に対する意識や関心が向上し、地域の文化遺産の保存と、次世代への確実な継承とともに、地域の活性化が期待できる。また、市民が中心となって行っている「地域のまつり」が歴史的に、また、魅力的となり、地域だけではなく、多くの人が集い、参加する原動力となる。さらには、観光客の誘致にもつながる。 また、祭礼に使用されている太鼓屋台を修理することによって、祭礼自体にも活気がでるだけでなく、住民同士の絆がより深まり、他市町へ出ていた人の故郷への帰郷にもつながる。</p> | | | |

| | |
|--|--------------------------------------|
| 10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など） | |
| 事業概要： | 河合中町：八王子神社、新宮神社、岩浪神社の祭礼、獅子舞、町内ウォーキング |
| 事業概要： | 久保木町：住吉神社夏まつり、秋まつり祭礼・神事、獅子舞奉納 |
| 事業概要： | 好古館：特別展、企画展、その他歴史体験イベント |
| 11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等 | |
| 今後検討していく予定である | |
| 12 担当部局 | |
| 地方公共団体 担当部局課 | 兵庫県小野市教育委員会 いきいき社会創造課好古館 |

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

| | | | | | | |
|------------|---|-------------|----------|----------|-------------|--|
| 目標区分 1 : | 地域の文化資源を活用した集客・交流 | | | | | |
| 評価指標区分 1 : | 地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり) | | | | | |
| 具体的な指標 1 : | 小野市の歴史博物である好古館の入館者数 | | | 関連事業 : | 特別展、企画展 | |
| 目標値 1 : | 平成 23 年度 | 12,179 名 | ⇒ | 平成 33 年度 | 20,000 名 | |
| 設定根拠 1 : | 平成23年の入館者数を基本とすると、平成25年以降、毎年40~50%増の入館者となっている | | | | | |
| 進捗状況 1 : | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | |
| 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | |
| | | | | | | |
| 目標区分 2 : | 地域の文化資源を活用した集客・交流 | | | | | |
| 評価指標区分 2 : | 地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり) | | | | | |
| 具体的な指標 2 : | 市全体の観光客数 | | | 関連事業 : | ① | |
| 目標値 2 : | 平成 28 年度 | 1,871,145 名 | ⇒ | 平成 33 年度 | 1,874,888 名 | |
| 設定根拠 2 : | 平成28年度までの毎年度平均伸び率0.2%に対し、2倍の0.4%を設定 | | | | | |
| 進捗状況 2 : | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | |
| 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | |
| | | | | | | |
| 目標区分 3 : | 伝統文化の継承体制の維持・確立 | | | | | |
| 評価指標区分 3 : | 祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次のとおり) | | | | | |
| 具体的な指標 3 : | 久保木町の住吉神社の祭礼の参加者数 | | | 関連事業 : | ② | |
| 目標値 3 : | 平成 28 年度 | 400 名 | ⇒ | 平成 33 年度 | 600 名 | |
| 設定根拠 3 : | 修理前に比べ50%増、さらにその50%増を設定 | | | | | |
| 進捗状況 3 : | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | |
| 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | |
| | | | | | | |
| 目標区分 4 : | その他 | | | | | |
| 評価指標区分 4 : | その他 (具体的な指標は次のとおり) | | | | | |
| 具体的な指標 4 : | 文化遺産活用イベント(補助対象外)の参加者数 | | | 関連事業 : | ③ | |
| 目標値 4 : | 平成 28 年度 | 2,453 名 | ⇒ | 平成 33 年度 | 2,600 名 | |
| 設定根拠 4 : | 平成28年度までの毎年度平均伸び率3%に対し、2倍の6%を設定 | | | | | |
| 進捗状況 4 : | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | |
| 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | |
| | | | | | | |

